

人権推進課

1 人権尊重のまちづくり推進事業

平成 13 年 1 月に施行した「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき平成 15 年度から策定している「三木市人権尊重のまちづくり基本計画」（以下「基本計画」という。）を実行に移すため、全ての行政分野における人権行政の確立に向けた全庁的な取組として「三木市人権尊重のまちづくり実施計画」（以下「実施計画」という。）を平成 16 年度から毎年策定し、関係各課が計画した事業の推進に取り組んでいる。

平成 28 年度に実施した「人権に関する市民意識調査」「同和問題解決に向けた実態調査」「外国人市民実態調査」及び「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果から、これまでの施策の成果として人権意識が日常生活に根付いてきていることがうかがえた。一方で、若い世代を中心に無関心層が増加していることや、社会全体に依然として差別意識が残っていることも明らかになった。

平成 29 年度には、これらの調査結果に基づいて平成 30 年度から 7 年間の「三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第 3 次）」を作成し、それに基づき平成 30 年度以降毎年実施計画を策定し、人権施策の推進を図っている。

(1) 人権尊重のまちづくり実施計画の推進

「実施計画」に関して、令和 4 年度の各課題に対する取組・推進状況を上期（令和 4 年 4 月～令和 4 年 9 月）と全期（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）に分けて各部に提出を求め、三木市人権尊重のまちづくり推進審議会に報告の上、意見等を聴取した。

また、審議会での意見、各施策の取組状況を次の場所において公表した。

公表場所 市ホームページ、市役所情報公開コーナー、総合隣保館

(2) 三木市人権尊重のまちづくり推進審議会の開催

「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、平成 13 年 6 月に三木市人権尊重のまちづくり推進審議会を設置した。

審議会の構成メンバーは、広く市民の意見を反映させるため、各種関係団体代表者と一般公募者、学識経験者の計 20 人で構成している。

- ・委員任期 令和 3 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日
- ・開催日 令和 4 年 10 月 13 日、令和 5 年 3 月 29 日
- ・議題 「令和 4 年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画」取組状況(上半期)について
「三木市人権尊重のまちづくり実施計画(第 4 次)」策定に向けたスケジュールについて
「令和 4 年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画」取組状況(年間)について

2 同和生業資金償還事業

昭和 50 年度から 56 年度まで実施した同和生業資金の貸付にかかる償還について、残る滞納者は 4 人、滞納額は、2,962,995 円(令和 5 年 3 月末)となっている。

滞納者に対しては、電話や文書、訪問などの方法を通じて個々の事案を十分に調査、把握し、それぞれの状況に応じた適切な償還方法で滞納解消に努めている。

3 男女共同参画事業

平成 11 年 6 月に施行された「男女共同参画社会基本法」及び平成 13 年 1 月に施行された「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、「三木市男女共同参画プラン（第 3 次）」及び「三木市男女共同参画プラン実施計画」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進している。

男女共同参画センターでは、「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性別役割分担意識や、社会の制度や慣行の中にある偏った意識を変えていくため、講座の実施、女性のための相談事業、活動や交流の支援、情報誌の発行、情報の収集と提供を行っている。

また、女性たちがネットワークを広げることや女性の人材育成などの支援を行っている。

(1) 三木市男女共同参画セミナー

ア 出前講座

回	開催日時・場所	講師	内容	参加人数
1	R4. 8. 26 自由が丘公民館	黒崎輝美 (健康生きがいつくりアドバイザー)	女のものさし・男の定規	62
2	R4. 9. 13 中央公民館	斉藤容子 (関西学院大学災害復興制度研究所 主任研究員・准教授)	男女(とも)に学ぼう防災	98
3	R4. 11. 17 志染町公民館	家島明彦 (大阪大学キャリアセンター副センター長、准教授、公認心理師、キャリアカウンセラー)	男らしさ・女らしさはつくられる～メディアが及ぼす影響～	24
4	R4. 12. 11 細川町公民館			55
5	R5. 1. 18 緑が丘町公民館	藤原直 (LGBT 活動家)	自分らしく生きる～LGBT ってなんだろう？～	65
6	R5. 2. 5 青山公民館	中村和子 (オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー)	私が気づく、私が変わる、社会が変わる～次世代にどんな社会を用意しますか～	29

イ 弁護士による法律セミナー

開催日	場所・講師	内容	参加人数
R4. 11. 16	教育センター 山本優子 (弁護士)	意外と知らない親権の話～知らなかったと後悔しないために～	会場：18 オンライン：14

ウ 出張！女性のための働き方セミナー（兵庫県と共催）

開催日	場所・講師	内容	参加人数
R4. 10. 8	教育センター 喜田菜穂子 (有限会社 OFFICE HARMO 代表取締役)	職場で、家庭で、地域で、あらゆる場面で役立つ！セルフコーチング	10

エ 男女共同参画セミナー（子育て支援課と共催）

開催日	場所・講師	内容	参加人数
R5. 1. 28	教育センター 島田妙子 (一財) 児童虐待防止機構オレンジCAPO 理事長)	幸せってなんだっけ？～人にも自分にもあたらない社会をめざして～	会場：33 オンライン：8

オ 女性リーダー育成講座「みきウィメンズすてっぷあっぷ塾」

回	開催日時・場所	講師	内容	参加人数
1	R4. 5. 14 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー)	なぜ男女共同参画なの？自分について考える リーダーとして何が必要か	10
2	R4. 5. 21 多可町文化会館	—	<+学ぶ講座> ひょうご女性未来会議 in たかに参加	3
3	R4. 6. 25 教育センター	川邊暁美 (言の葉 OFFICE かのん代表)	想いが伝わる話し方	5

4		竹安栄子 (京都女子大学学長)	地域づくりにおける男女共同 参画 (男女共同参画週間記念講 演会に参加)	6
5	R4. 7. 2 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー) 竹安栄子 (京都女子大学学長)	第1回北播磨管内女性リーダー 交流会	27
6	R4. 7. 16 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー)	三木市ってどう思う？課題を 見つけましょう	5
7	R4. 8. 11 加西市議会議場	—	<+学ぶ講座> 加西市女性議会傍聴	5
8	R4. 9. 10 教育センター	松尾やよい (夢こらば主宰)	フォーラムでやりたいことは 何？グループ運営と企画のコ ツ	4
9	R4. 10. 1 西脇市 茜が丘複合施設	白井文 (前尼崎市市長)	第2回北播磨管内女性リーダー 交流会「元気です！北播磨の女 性たち」	5
10	R4. 10. 29 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー) 松尾やよい (夢こらば主宰)	フォーラムに向けて	6
11	R4. 11. 12 教育センター			5
12	R4. 12. 10 教育センター			4
13	R5. 1. 12 教育センター			7
14	R5. 2. 25 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー) 松尾やよい (夢こらば主宰)	フォーラム開催	7
15	R5. 3. 11 教育センター	中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー)	フォーラムをやってみて	6

カ みきウイメンズすてっぷあっぷ塾フォーラム

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R5. 2. 25	教育センター 榎本英樹 (あそびとお話のデリバリー ドコデモ代表)	パパ・ママ応援講座 えのちゃん考える自分らし さ～ランドセルの色&制服～	34

(2) 男女共同参画週間記念講演会

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R4. 7. 2	教育センター 竹安栄子 (京都女子大学学長)	地域づくりにおける男女 共同参画	会場：96 オンライン：2

(3) 市職員対象の男女共同参画研修

回	開催日	時 間	場所・講師	内 容	参加人数
1	R4. 10. 5	10:00～ 11:30	教育センター 中村和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー)	ガラスの天井をやぶるの は私！～力に気づこう女 性たち～	35
2		13:30～ 15:00			25

(4) 市民企画講座

男女共同参画社会を実現するために、男女共同参画センターが実施する事業の他に、地域で活動している市民や団体と協働して取り組む事業として、市民や団体が企画する男女共同参画に関する講座を公募し、講座を実施するための支援を行った。

- ア 募集期間 6月1日～8月1日
- イ 募集件数 1件
- ウ 実施団体 クマノミ

開催日	場所・講師	内容	参加人数
R5.2.4	教育センター 寺尾直美 (助産師)	いのちのお話会「みんな知りたい 自分のからだ 自分のいのち」	56

(5) 啓発

ア 男女共同参画週間啓発展示

6月23日から29日の「男女共同参画週間」中、市役所に啓発用のぼり旗を設置するとともに、市役所プロムナードでパネル展を実施した。

イ 11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、市役所入口の風除室でパネル展を実施した。

ウ その他の啓発

	実施日	場所	行事名	内容
1	R4.6.10～R4.6.30	口吉川町公民館	文化祭等	パネル展示により性的マイノリティに関する理解を深めるための啓発を行った。
2	R4.7.1～R4.7.29	別所町公民館		
3	R4.7.1～R4.7.29	自由が丘公民館		
4	R4.7.2	教育センター		
5	R4.8.18～R4.8.23	細川町公民館		
6	R4.10.7～R4.10.14	緑が丘町公民館		
7	R4.11.14～R4.11.24	志染町公民館		
8	R4.11.11～R4.11.14	青山公民館		
9	R4.11.11～R4.11.14	吉川町公民館		
10	R4.11.25～R4.12.12	中央公民館		
11	R4.11.30～R4.12.3	総合隣保館		
12	R4.12.4	市民活動センター		
13	R5.1.20～R5.1.31	三木南交流センター		
14	R5.1.27～R5.2.10	さんさんギャラリーオアシス		
15	R5.3.1～R5.3.31	中央図書館		
16	常設	マックスバリュ恵比須店	—	
17	常設	マックスバリュ三木北店	—	
18	常設	マックスバリュ別所店	—	

(6) 情報誌の発行

情報誌編集グループの協力を得て企画、編集を行い、A4判4Pの情報誌「こらぼーよ」を発行した。

- ア 発行回数：4回
- イ 発行部数：約5,000部/回

ウ 配布方法

- (ア) 市内公共施設全般、大型店舗、公共交通機関の駅、近隣市町などへの配付
- (イ) 各自治会での回覧
- (ウ) 男女共同参画センター主催事業の参加者への配布

エ 発刊号名称、掲載内容等

発刊号名称	主な掲載情報
60号 2022・春	<ul style="list-style-type: none"> ・主婦の底力！ ・「辞書を編む」受講レポート ・僕の主夫日記 ・私の願い～ある夫婦の働き方から考える～
61号 2022・夏	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画は進んでいますか～民生委員・児童委員から考える～ ・主夫日記「料理篇」 ・お仕事リタイア後も輝いている男性って？
62号 2022・秋	<ul style="list-style-type: none"> ・主夫日記「時間とお金の使い方篇」 ・講演会レポート「地域づくりにおける男女共同参画」 ・130万円は壁じゃなくなる？～社会保険の適用拡大は女性活躍の追い風となるか～
63号 2023・冬	<ul style="list-style-type: none"> ・主夫日記 番外篇「考えなくてもいい」特権 当たり前には享受している特権に気付く ・男子はつらいよ！女子もつらいよ！ ・イマドキの性教育、さらに前進！男子にも月経教育♪ ・みきウィメンズすてっぷあっぷ塾フォーラムのお知らせ

(7) 三木市男女共同参画センター運営委員会

- ア 任期：2年（令和3年5月1日～令和5年4月30日）
- イ 委員数：14人（女性11人、男性3人）
- ウ 活動内容：男女共同参画センターの運営、事業及び取組に協力するとともに協議を行う。
- エ 開催回数：5回（内1回は書面開催）

(8) 女性のための相談室

女性問題相談員（2人、1日1人対応）が、男女共同参画センターで電話相談及び面談に応じている。

ア 相談日時

- (ア) 電話相談：毎週火曜日 午前10時～正午、毎週木曜日 午後1時～4時
- (イ) 面談：毎週火曜日 午後1時～4時、毎週木曜日 午前10時～正午（要予約）

イ 相談件数

216人（電話182人、面談34人）から相談があった。内容別相談件数は339件（電話277件、面談62件）となっており、主な相談内容は次のとおりである。

ウ 内容別相談件数の順位

順位	相談内容	件数	割合（％）
1	家族関係	137	40.4
2	こころ	57	16.8
3	夫婦関係	52	15.3

(9) 女性のための弁護士相談

配偶者や交際相手とのトラブル（DV、ストーカー被害、借金）、離婚（親権、養育費、財産分与）などの女性の悩みに理解のある女性弁護士が行う面接相談（無料）を実施した。

- ア 相談弁護士：兵庫県弁護士会から選任された弁護士
- イ 相談日時：毎月第4水曜日 午後1時50分～午後4時30分（1人40分）
- ウ 相談人数：38人

(10) 婦人相談

婦人相談員が、配偶者や交際相手とのトラブルについて電話及び面談で相談に応じている。

- ア 相談日時：毎週月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで
- イ 相談件数 : 617件 (電話447件、面談170件)
- ウ 相談者実人数 : 131人
- エ 関係機関への連絡: 35件
- オ 証明書発行 : 37件

(11) 女性のためのチャレンジ相談 (三木市・兵庫県共催)

再就職、起業、資格取得などをめざす女性のためのチャレンジ相談を実施した。

- ア 相談日時：11月1日 午前9時～正午 (1人50分)
- イ 相談員：飯鉢仁弥 (キャリアコンサルタント、産業カウンセラー)
- ウ 相談人数：3人

(12) 男女共同参画センター登録グループの活動

女性の地位向上、男女共同参画社会の実現をめざした学習活動を行うグループや、女性の社会参加を促進し実践するグループに対し、活動支援を行った。

	グループ名	会員数	活動内容
1	情報誌編集グループ	6	男女共同参画センター情報誌の企画・編集、市民への情報の周知など

(13) DV被害者の新たな生活応援事業「こらぼーよステーション」

お金や身の回りの物を持ち出せずシェルターなどに緊急避難したDV被害者が、シェルター退所後に自宅以外で新たな生活を始められるように、自宅で不要になった生活物資の寄贈を市民に呼びかけ、寄贈を受けた物資をDV被害者に提供することにより、新たな生活を始める手助けを行った。

- ア 寄贈者：4人
- イ 寄贈物品数：28点 (台所用品：7点、日用雑貨：21点)

(14) 図書・情報の提供

- ア 男女共同参画センターの一面を男女共同参画社会の実現を目的とした個人やグループでの活動に自由に利用できる場所として提供している。また、女性・男性問題や男女共同参画に関する図書を整備し、貸出も行っている。(貸出は1人5冊、2週間)
 図書蔵書数2,562冊、ビデオ・DVD46種類
 利用者9人、貸出冊数26冊
- イ 各地の男女共同参画センターが発行している情報誌や講座案内のチラシなどを配架し、自由に閲覧・配布できるようにしている。

4 人権相談事業

人権擁護委員 (11人) による相談事業を実施した。

(1) 定例相談

日時・会場	毎月第1金曜日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
	毎月第3木曜日	午後1時～4時	市役所2階入札控室
	5、10、3月の 第2木曜日	午後1時～4時	吉川支所相談室

(2) 特設相談

人権擁護委員の日	6月3日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
人権週間	12月2日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
	12月8日	午後1時～4時	吉川支所相談室

5 人権教育事業

(1) 人権教育指導員研修会

社会教育における人権教育・啓発の推進リーダーとしての資質の向上を図るため実施した。

回	開催日・会場	研修内容	参加人数
1	R4. 4. 21 総合隣保館	委嘱、令和4年度の活動及び研修計画等の資料配布 前年度の成果と課題について	16
2	R4. 5. 21 市民活動センター	三同教総会 各専門部会	10
3	R4. 5. 26 総合隣保館	人権啓発 DVD「夕焼け」を視聴して 指導員の発表「高齢者」	16
4	R4. 6. 9 総合隣保館	人権作文・標語の審査会	12
5	R4. 6. 10 教育センター R4. 6. 17 吉川町公民館 R4. 6. 24 教育センター	同和教育セミナー	14
6	R4. 7. 14 堺市	視察研修：舳松人権歴史館 百舌鳥古墳群ビジターセンター	14
7	R4. 7. 23 高砂市	東人教研究大会	2
8	R4. 8. 20 文化会館	市民じんけんの集い	9
9	R4. 9. 24 尼崎市	兵人教中央大会	1
10	R4. 9. 29 総合隣保館	水平社創立宣言に学ぶ 講師：赤松 篤	16
11	R4. 10. 19 総合隣保館 R4. 10. 22 吉川町公民館 R4. 10. 26 総合隣保館	人権フォーラム	14
12	R4. 10. 28 総合隣保館	「町の石ひ」フィールドワーク 頌徳碑隧道見学	14
13	R4. 11. 19 市民活動センター	三同教研究大会	5
14	R4. 11. 26～R4. 11. 27 奈良県	全人教研究大会	0
15	R4. 12. 3～R4. 12. 4 市民活動センター	隣保館文化祭 展示1日～5日 講演「母から娘へそして孫へ」 講師：坂田かおり	8
16	R4. 12. 17 養父市	館外研修 中瀬金山関所 明延鉦山探検坑道見学	14
17	R5. 2. 1 総合隣保館	人権啓発 DVD の視聴	9
18	R5. 2. 16 総合隣保館	人権啓発 DVD の視聴	11
19	R5. 3. 9 総合隣保館	人権啓発 DVD の視聴 今年度の反省とまとめ	11
合 計			196

(2) 人権教育に関する講座

市民の人権意識の高揚を図るため開催した。

回	開催日・会場	研修内容	参加人数
1	R4. 8. 20 三木市文化会館	市民じんけんの集い 「差別をなくする輪をひろげよう」 市民運動作品表彰式 ・人権作文・標語・ポスター優秀作品の表彰 ・人権作文朗読 ・パネルディスカッション 『性の多様性について考えてみませんか～誰もが生きやすい社会の実現にむけて～』 パネリスト 仲岡 しゅん・南 和行 コーディネーター 甲斐 千代子 ・バリアフリー映画会 『リメンバー・ミー』上映	480
2	R4. 12. 4 三木市総合隣保館 三木市立市民活動センター	総合隣保館文化祭 ・市民団体等作品展示 ・記念講演 『母から娘へそして孫へ～部落差別から人権を考える～』 講師 部落解放同盟鳥取県連合会女性部副部長 人権テイク・ルート代表・オーガナイザー 坂田かおり	363

(3) 社会教育指導者養成

住民学習の学習内容・実施方法等を学ぶため、住民学習の指導者に対し実施した。

事業名	内容	実施日	実施場所
住民学習指導者研修 住民学習リーダー研修	実施回数 23回 参加者人数 1,004人 行政職員、教職員、人権教育指導員他 各地区地推協等で実施	年間	各公民館 市役所

(4) 住民学習

人権尊重のまちづくりを進めるため各自治会・各地区人権・同和教育推進協議会で実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所		
住民学習会	三木地区	40回	972人	R4. 7月～3月	各地区
	三木南地区	23回	225人		
	別所地区	15回	346人		
	志染地区	13回	203人		
	細川地区	22回	491人		
	口吉川地区	12回	362人		
	緑が丘地区	9回	166人		
	自由が丘地区	14回	226人		
	青山地区	6回	120人		
	吉川地区	41回	559人		
	合 計	195回	3,670人		
地区別人権・同和教育研究大会	三木地区 内容 <人権ミニフェスティバル> 人権ポスター展示・人権クイズ 展示・人権作文発表会	参加者 300人	R4.11.26 ～27	中央公民館	
	三木南地区 内容 学びと理解を大切にする三木南地区 にむかって『いま、私たちにできる こと』～認知症の人やその家族が安 心して暮らせるまちづくりを～ 講師 関西国際大学 保健医療学部准教授 谷口 由佳	参加者 34人	R5.1.21	三木南交流 センター	
	別所地区 内容 「沖縄・三線でつながろう」 講師 戎 剛	参加者 68人	R5.2.5	別所町 公民館	
	志染地区 内容 「農福連携と障がい者福祉」 講師 特定非営利法人「百生一輝」 湯浅 典哉	参加者 63人	R4.10.30	志染町 公民館	
	細川地区 内容 「男らしさ・女さしは作られ る」～メディアが及ぼす影響～ 講師 大阪大学キャリアセンター副 センター長、准教授 家島 明彦	参加者 55人	R4.12.11	細川町 公民館	
	口吉川地区 内容 「へこたれへん ～人はきつとつながれる～」 講師 みえ人権教育・啓発研究会 代表 松村 智広	参加者 56人	R4.12.3	口吉川町 公民館	

緑が丘地区 内容 講師	参加者 101人 「多様な性と生き方の尊重」 ～LGBTについて理解を深めよう～ 弁護士 仲岡 しゅん	R5. 2. 12	緑が丘町 公民館
自由が丘地区 内容 講師	参加者 85人 「つらい気持ちに寄り添うために」 NPO 法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香さん	R5. 2. 19	自由が丘 公民館
青山地区 内容 講師	参加者 29人 「ひと・まち・であいセミナー」 オフィス EEE 男女共同参画 アドバイザー 中村 和子さん	R5. 2. 5	青山公民館
吉川地区 内容 講師	参加者 150人 コンサート 人権 a cappella 宝船	R4. 12. 10	吉川町 公民館

(5) 団体別学習

婦人会、PTA、老人クラブ、民生委員児童委員等の団体別学習を実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
団体別研修会	婦人会・老人クラブ・登録団体 34回 930人	年 間	各地区
保・認・幼・小・中・ 特別支援学校 PTA 人権・同和研修会	保・認・幼稚園(所) 13園 参加者 394人 小・特学校 9校 参加者 1,384人 中学校 5校 参加者 1,145人	年 間	各学校

(6) 人権教育総合推進事業

ア 教育事業

人権尊重の仲間づくりや地域づくりをするために実施した。

事業名		回数	参加人数	場 所
A 地区教育事業	成 人	0	0	各地区公民館・集会所等
	青少年	37	262	
B 地区教育事業	成 人	1	23	"
	青少年	0	0	
C 地区教育事業	成 人	0	0	"
	青少年	67	210	
D 地区教育事業	成 人	0	0	"
	青少年	0	0	
E 地区教育事業	成 人	6	165	"
	青少年	50	287	
F 地区教育事業	成 人	0	0	"
	青少年	0	0	
G 地区教育事業	成 人	1	20	"
	青少年	38	38	

H 地区教育事業	成人	0	0	〃
	青少年	0	0	
I 地区教育事業	成人	0	0	〃
	青少年	19	84	
J 地区教育事業	成人	0	0	〃
	青少年	31	2,150	
教育事業 学習交流会	R4.11.12 参加人数 58人			三木山総合公園 総合体育館

イ 人権リーダー育成講座

人権学習会等で、リーダーとして活躍できる人材の育成をめざして実施した。

回	開催日・会場等	研修内容	参加人数
1	R5.3.8・総合隣保館	人権リーダー育成講座：ファシリテーション研修	8
2	R5.3.20・総合隣保館	人権リーダー育成講座：性の多様性について	4

ウ 人権教育団体活動助成事業

市民団体等の人権に関わる教育活動を支援した。

登録団体名	活動内容
テアトロ三木	人権問題について演劇を通じて広く啓発
鳥町推進協議会	学習会やイベントを通じて人権意識高揚を図る
いのちを考える みき市民の会	いのちの尊厳を学ぶ人権学習会等の開催
人権書道きらきら	「書」を通じて自由に交流を楽しむ
まなびや・いちご塾	子どもの人権等、さまざまな人権学習の開催
NPO 法人自立生活 支援センター歩	さまざまな人権問題に関する講演会等の開催

6 人権啓発に関すること

(1) 啓発資料の作成

以下の資料を作成・編集し、配布した。

- ア 人権問題啓発資料「ふるさとに生きる Vol.32」・・・【市内全戸配布】
- イ 人権作文集第52集・・・【学校園他配布】
- ウ 第38回三木市人権・同和教育研究大会研究集録・・・【三同教関係団体配布】
- エ 人権・同和教育実践記録集第48集・・・【三同教関係団体配布】
- オ 視聴覚資料一覧・・・【学校、企業、各団体】

(2) 人権尊重のまちづくり推進強調月間

人権尊重のまちづくりの機運を醸成するため、以下の取組を実施した。

ア ポスター・標語・作文の募集

作品区分	ポスター（点）	標語（点）	作文（点）
小学校	3,088	3,270	2,245
中学校・特別支援学校	1,662	1,656	1,612
PTA・一般	募集せず	60	30
合計	4,750	4,986	3,887

イ 広報活動

- (ア) スローガン入りウェットティッシュの配布
- (イ) 公用車の啓発マグネットシートの貼付
- (ウ) 啓発ポスター・標語ポスターの作成配布

- (エ) 「広報みき(8月号)」等による啓発
- (オ) 人権尊重のまちづくり推進強調月間街頭啓発(啓発カー市内巡回)
- (カ) みっきい広場において啓発ポスター等の展示
- ウ 「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品表彰式
- (7) 人権作文・標語・ポスター優秀作品の表彰
- (イ) 人権作文朗読

7 三木市人権・同和教育協議会

三同教と連携することにより、部落差別をはじめ、あらゆる差別を解消するための人権・同和教育の推進を図った。

(1) 総会、研究大会、専門部会研修会

人権・同和教育や啓発を進め、人権尊重のまちづくりを進める研修会や実践交流等を行った。

(2) じんけんサポート事業(26件)

PTAや老人クラブなどの団体や企業が人権研修会や視察・交流研修などを行う際の費用の一部を補助した。

(3) じんけんスタディ事業(中学校2件、高等学校2件)

若者層への人権意識の高揚、啓発のため中・高・大学生を対象として、デートDV・情報モラル・LGBTなど、幅広い内容の人権研修を実施する中学校、高等学校に対し経費の一部を助成した。

(4) じんけん・こころの小窓事業(毎週2回)

人権についての身近な話題をラジオ番組で提供した。

(5) じんけんフィールドワーク事業(1回)

人権にかかわりのある地域などを訪れ、差別の歴史や人々の思いなどを学ぶことにより、差別や偏見を解消していく機運を高めるための研修を開催する事業である。2月25日、徳島県(阿波木偶文化資料館・阿波踊り会館)にてフィールドワークを行った。

(6) じんけんカレンダー作成事業(1,000部)

「じんけんフォト&メッセージコンテスト」の募集を行い、その入賞作品(特選・優秀賞・入選の12作品)を掲載したカレンダーを作成した。市民への人権啓発を進めるため学校や公民館等の場で一年間見てもらえるようカレンダーに掲載・作成し、配布した。

(7) 学習活動支援事業

東人教研究大会資料の配布や書籍購入等、人権教育・啓発活動の活性化を図った。

(8) 人権ふれあい交流事業

5月にふれあいスポーツデー事業を文化・スポーツ課と共催でホースランドパークにて実施し、スタッフとして18人の参加があった。8月にはバリアフリー映画会としてリメンバー・ミーを上映し、親子で93人の参加があった。

(9) 青少年教育補助事業(4件)

子どもたちのたくましい心を育てていくため、地域に根差す人権団体に対し、教育事業に係る経費を助成した。

(10) スリーサポーターズ登録制度(61人)

三同教の活動に興味を有する地域住民の方をスリーサポーターズとして登録し、活動に参画していただくことで、三同教の活動の活性化を図った。

(11) インターネット差別書き込みモニタリング事業

市からの受託事業。インターネットのモニタリングにより差別的な書き込みを早期発見し、サイト管理者等に削除依頼し拡散防止並びに抑制を図った。また、このような現状を周知し、市民からの情報を受け付け、差別解消に向けた取組の必要性を啓発した。

- ア 監視回数：99回
- イ 発見件数：10件
- ウ 削除依頼件数：10件
- エ 削除済件数：0件

8 総合隣保館事業に関すること

(1) 隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催した。

回	開催日	審議内容	参加人数
1	R4. 4. 15	(1) 令和3年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和3年度総合隣保館利用状況について (3) 令和3年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和4年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和4年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	11
2	R4. 7. 22	(1) 第39回総合隣保館文化祭について (2) 人権フォーラムの開催について (3) その他	12
3	R5. 3. 20	(1) 令和4年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和4年度総合隣保館利用状況について (3) 令和4年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和5年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和5年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	11

(2) 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区分	内 容		相談件数
相談事業	・経営相談	43件	計 132
	・税務相談	57件	
	・金融相談	4件	
	・労働相談	0件	
	・経理相談	11件	
	・人権相談	17件	
	・福祉相談	0件	
	・教育相談	0件	
	・職業相談	0件	
	・生活相談	0件	
	・その他	0件	

(3) 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区(集会所)等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
革細工教室	革のスマホ入れづくり	1	11

(4) 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、人権フォーラム等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

ア 啓発活動事業

(7) 同和教育セミナー

市民が同和問題を正しく理解し、解決するために必要な知識を得るための研修の場として6月に3回実施した。

開催日	内 容	参加人数
R4. 6. 10	テーマ「差別意識」とは何か、について考える 講師 元関西学院大学講師 日野謙一	84
R4. 6. 17	テーマ「パパは女子高生だった」～自分らしく生きること～ 講師 Like Myself 代表 前田良	69
R4. 6. 24	テーマ「全国水平社創立 100 周年の歴史的意義」 講師 リバティおおさか大阪人権博物館長 朝治武	87
合 計		240

(イ) 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、市民の方が経験や思いを発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

開催日	内 容	参加人数
R4. 10. 18	作文朗読「素直な心」 三木特別支援学校 PTA 井上絵梨子 「RASHとともに歩んだ10年」 ～免許のない私でも～ 総合隣保館運営委員 畑中麻実 「子どもの不登校から学んだもの」 ～親（自分自身）の成長～ 三木いきいき親の会 藤田隆子 「人権教育担当になって」 三木小学校長 小紫達矢	109
R4. 10. 21	作文朗読「思いやりの心を大切に」 口吉川小学校 6年 岸本愛望 「可能性を信じ挑戦！」 ～1年延期になったパラリンピックで学んだこと～ 日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員 小山貴子 「脳梗塞を発症して11年」～今、思うこと～ 兵庫県脳卒中者友の会「あけぼの会」会長 今枝睦宏	69
R4. 10. 25	作文朗読「私のおじいちゃん」 三樹小学校 6年 錦 茉穂 「みんなちがって、みんなおんなじ」 ～アフリカ・マラウイのくらしから～ 元青年海外協力隊 横田美空 「『ふつう』って何？」 人権擁護委員 中井靖子 「かかわり合って つながり合って」 総合隣保館運営委員長 小林伶子	99
合 計		277

(ウ) 総合隣保館文化祭記念講演会

12月の人権週間に実施する意義と人権について学ぶことの大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施した。

開催日	内 容	参加人数
R4. 12. 4	テーマ「母から娘へそして孫へ ～部落差別から考える～」 (講師) 部落解放同盟鳥取県連合会女性部副部長 人権テイクルート代表 坂田 かおり	193

(エ) 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

開催日	内 容	参加人数
R4. 10. 2	たつの市立総合隣保館 講話 テーマ「部落差別解消推進条例制定後の たつの市について」 フィールドワーク 革細工体験	9
R5. 2. 25	徳島フィールドワーク (阿波木偶文化資料館、阿波踊り会館) ・部落の伝承文化である「三番叟」を復活するに至った人々の思いに触れる。 ・四国 3 大祭りのひとつである阿波踊りを体験し、400 年以上受け継がれてきた庶民の心意気を体感する。	38

(オ) 図書の実用と利用

- ・貸出冊数 66 冊
- ・貸出人数 34 人
- ・購入冊数 18 冊

イ 広報活動事業

(ア) 隣保館だよりの発行

- ・発行部数 毎月発行 4,600 部
- ・配布先 市内全自治会（回覧または配布）、公共施設等

(イ) 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- ・発行部数 1,000 部（年 1 回）
- ・配布先 各種団体代表、教育機関、公共施設等

(5) 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。今年度新たにエアロビクス体験講座を開催した。

ア 教養文化講座

NO	教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
1	手芸サークル	18	81	嶋田 千津子	月 2 回
2	茶道教室	28	72	杉本 さわゑ	月 3 回
3	書を楽しむきらきら書道教室	10	116	藤原 常貴	月 1 回
合 計		56	269		

イ 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内容	参加人数
フラワーアレンジメント教室	R4. 12. 28	テーマ「新春を生ける」 講師 田中 真紀	11
	R5. 2. 24	テーマ「おひなさま」 講師 田中 真紀	9
合 計			20

ウ エアロビクス体験講座の実施

事業名	実施日	内容	参加人数
エアロビクス体験	R5. 2. 27	エアロビクス体験 講師 寺坂 恵美子	16

エ 子ども教室

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

(ア) 夏休み子ども教室

8月1日～5日（5日間）新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。8月22日～26日は実施した。

(イ) 子ども教室

物づくりに興味をもたせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を養うために実施した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	18	161	館職員	
交流ハイキング	1	10	館職員	
計	19	171		

(ク) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切に共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、例年より規模を縮小した形で、総合隣保館及び市民活動センターで開催した。

開催日	内容	出席人数
R4. 12. 4	開会行事 オープニング RASH（ダンス）発表 杉の子学級 人権ペーパーアート（紙人形劇） テアトロ三木（人権朗読劇）発表 記念講演 「母から娘へそして孫へ～部落差別から考える～」 部落解放同盟鳥取県連合会女性部副部長 坂田 かおり	193
R4. 11. 30～R4. 12. 4	・ 隣保館関係団体による作品展示 ・ 人権クイズラリー	170

(6) 社会調査研究について

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら2月から3月に実施した。

9 子どもいじめ防止センターに関すること

(1) いじめ相談等の受付及び対応状況

ア 相談日及び時間 月曜日～金曜日（祝日、年末年始除く） 午前9時～午後5時

イ 相談受付の件数内訳（月別）

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
方法	面接相談							1						1	2
	メール相談														0
	電話相談							1		8	2	1	1	2	15
内容	いじめ							1		7	2	1	1	3	15
	その他（※）							1		1					2
相談者	本人							1		1				1	3
	家族							1		8	2	1	1	2	15
	友人・知人・地域							1		1					2
	学校・関係機関														0

※ その他・・・児童虐待、対人関係の悩み、要望など

ウ 対応状況

相談者に寄り添い、傾聴するとともに、相談者と共に解決方法を考える姿勢で相談を受けた。相談者の了解を得た上で学校等への情報提供を行った事案については、情報提供後も学校に様子を聞くなど、教育委員会や学校と連携し解決に努めた。

なお、子どもいじめ防止センターへの相談のうち、子どもの生命、心身又は財産に関わる重大ないじめ事案はなかった。

(2) 広報・啓発活動

ア 啓発カードの配布

学校や公共施設等に設置した。

イ 啓発クリアフォルダーの配布

7,000枚を作成し、全小中学生に配布した。

ウ 啓発ポスターの掲示

ポスターカレンダー700枚を作成し、学校、自治会、公共施設、病院、大型店舗などに掲示した。

エ 子どもいじめ防止センターだよりの発行

親子でいじめについて話し合うきっかけづくりとして、A4判4Pのセンターだよりの「ハートフル」を各学期に1回発行し、全小中学生の家庭に配付するとともに、市内各自治会へ回覧した。

発行番号	発行月	内 容	発行部数
27号	令和4年7月	子どもたちの心に平和の砦を	各 10,000
28号	令和4年12月	“SNSはハートをつなげるもの！”	
29号	令和5年3月	知ってください！子どもの権利	

オ 弁護士によるいじめ防止出前授業の実施

弁護士が、人権の視点からいじめについての出前授業を行うことにより、いじめを防止する意識を育成するため、兵庫県弁護士会の協力を得て、中学校6校22クラスで実施した。

カ 講演の実施

市民、保護者及び教職員のいじめ問題に対する理解と認識を深めるため、講演を関係機関の大会において共催した。

三木市連合PTA研究発表会記念講演会（三木市連合PTA共催）

キ 講演の実施

市民、保護者及び教職員のいじめ問題に対する理解と認識を深めるため、関係機関の大会において講演会を共催した。

三木市連合 PTA 研究発表会記念講演会（三木市連合 PTA 共催）

開催日	場所・講師	内容	参加人数
R5.2.11	三木市文化会館 小ホール 講師：教育サポーター 仲島 正教	講演「あーよかったな あなたが いて」	176

(3) 教育委員会及び学校との連携

教育委員会といじめ防止対策推進法に関する市の対応やいじめ防止に関する取組に関して情報交換などを行った。

また、市内小中特別支援学校全 20 校を訪問し（1 学期：20 校・2 学期：14 校）、学校いじめ防止基本方針の策定状況や学校の状況を聞くとともに、対応や連携について話合った。